

わかくさ

令和6年 12月 13日
第8号

校長 大越 泰子

がんばる自分 ささえる仲間

師走に入り、今年も残りわずかとなりました。間近にせまったクリスマスや冬休みに、子どもたちもウキウキしているようです。2学期は、様々な行事や出来事がありました。運動会や時間走等の取り組みをとおして、子どもたちは日々成長をしていきます。また、学習の面でも、内容の濃い時期でもありました。特に、1年生においては、1学期の頃と比べ、カタカナや漢字の学習も始まり、次々新たな知識を身につけています。今年からプリントの宿題を無くしましたが、学校での取り組みの状況と児童の実態を確認し、確実な知識の定着に向けて検討を重ねていきたいと思えます。

山北町教育研究会 11月27日(水)

山北町教育研究会は、町内の園・小・中学校の全職員で組織されています。町で取り組んでいる0~15才の一貫教育・保育をより充実させるため、年に1回、公開授業研究を行っています。今年度は、本校を会場とし全学級の授業の様子、児童の姿を参観していただきました。授業後の協議では、学年ごとに7グループに分かれ園・小・中の職員をミックスして話し合いを行いました。取組を始めて3年目。成果はもちろん、各校種で感じている課題についても共有することができました。各会場をMeetでつなぎ、大型ディスプレイを活用して話し合いの成果を交流しました。

山王小学校との交流会

11月22日(金)4年生が山王小学校との交流会を行いました。6月は招待されて、下流の山王小学校へいきましたが、今回はおもてなしをする側です。三保ダムで合流し、15の合同グループに分かれ、ウォークラリーをしながらダムにちなんだクイズに挑戦しました。その後バスで川村小学校へ移動し、体育館で交流会の第2部を行いました。山北町を紹介するため、名所や、名物に加え「川小のおいしい水を飲んでほしい」「足柄茶を飲ませてあげたい」という願いから体験コーナーを設けたところ大好評でした。

授業参観へのご参加ありがとうございました

11月16日(土)に行った授業参観には、多くの方々にご来校いただき、ありがとうございました。久しぶりに土曜日に開催しましたが、ニーズの高さが伺えました。中学生もたくさん来てくれて、久しぶりの小学校を懐かしく回っていました。児童の背中が緊張と喜びで、いつもより伸びているようでした。

おめでとうございます 青色申告書道展



さがみ信用金庫賞

6年 片瀬 凪

山北町長賞

6年 松田 一希

山北町長賞

3年 尾崎美結琉



令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果から

4月18日に6年生を対象に全国学力・学習状況調査を実施しました。6年生には個別に結果を配付しています。自分の結果を振り返り、苦手なところを確認しましょう。結果を受けて、教職員も本校の強みと課題について話し合い、今後の授業に生かす具体的な方策について検討しました。(◎優れている点 △課題のある点)

国語

◎目的に応じて自分の考えを工夫して書く力

△語彙力 漢字の活用力

《今後の取り組み》

- ・基礎基本の定着のため、朝モジュールを、集中してスキル等に取り組む時間として活用する。
- ・授業後の振り返りの機会をとおして、目的に応じた文章を書く習慣をつける。

算数

◎グラフを読み取る力

見取り図と立体を関連付ける力

△長文から必要な情報を読み取る力

速さ、道のり、時間の関係を考察する力

《今後の取り組み》

- ・課題解決型の問題を取り入れ、必要な情報を読み取る力を育成する。
- ・線分図を使ってイメージしたり、キーワードに線を引いたりして、解決の道筋を指導する。

児童質問紙調査からは、「自分には良いところがある」や「人が困っている時には進んで助ける」等の質問に肯定的に回答しています。思いやりの気持ちや自己肯定感の高さが伺えます。

今後も学期ごとに行っているスマイルアンケートなどを活用し、一人ひとりの気持ちに寄り添った支援を心がけていきます。また、SNSや動画の視聴時間が年々増えています。それに伴い、家庭での学習時間も短くなっている傾向にあります。今後ご家庭と連携して、与えられる宿題から自分で決められる家庭学習を目指して指導していきます。

パフォーマンス集会 12月4・6日

児童会目標「一人ひとりのひとみ輝く 最高の学校」の実現に向けて、運営委員会が企画し開催しました。参加者を募集したところ、想定以上に希望者が多く、2日間にわたって開催することとなりました。10組の出し物は、歌あり、ダンスあり、劇あり、漫才ありとバラエティーに富んでいて観客も大盛り上がりでした。どのような出し物があったのか、詳細についてはお子さんからぜひ聞いてください。この集会を通して驚いたのは、どの子も大舞台にも関わらず堂々としていたことです。終了後の職員室で先生方が「安心して自分自身を表現できるのは、温かく受け止めてくれる観客の雰囲気大きいね。」と話していました。「支える仲間」がここにいます。



校長室の窓から

12月11日(水)の予定表が7時間となっていて、驚いた人もいたことでしょう。この日は、1月29日の本公演前に、神奈フィルから5名の方が来てくださって、ワークショップを行いました。オーケストラの演奏に合わせて全校ボディーパーカッションを行うための事前練習会です。目の前で本物のバイオリン、ホルン、ピアノの演奏を見て、一気にテンションがあがりました。ちょっとしたアドバイスで、児童の演奏も変わりました。何よりどの子どもとても良い顔をしていました。フルオーケストラとのコラボが楽しみです。